

朝E版 (日刊)

「災害の記録生かし防災」

「治水の神」から学ぶ



山梨県の関係者(右)と次回サミットの引き継ぎをする、実行委員会の正田忠公会長(左)＝13日、臼杵市中央公民館

「第5回全国禹王まつり・禹王サミット in 臼杵」が12、13の両日、臼杵市中央公民館などであった。中国の神話に由来する治水の神、禹王ゆかりの史跡を顕彰する全国の人たちが、歴史を伝え残す意義を再確認。交流を深めた。

臼杵で禹王サミット

臼杵市家野には県内唯一の禹王関連史跡で農業の神、稷も一緒に祭った全国唯一の「禹稷合祀の壇」がある。催しには壇がある同市下南地区の住民や歴史愛好者ら約250人が参加。うち県外からは約100人が集まった。

12日は別府大学の豊田寛三学長が、近世大分の治水、利水について基調講演。パネルディスカッションでは臼杵を含む全国5カ所から史跡の現況やまちづくりへの活用などが報告された。13日は参加者が、禹稷合



サミットに集まった県内外の参加者

祀の壇など下南地区の史跡や利水施設を見学。壇での年1回の神事や、小学生による奉納相撲大会も多くの人の目に触れた。全体会では実行委員会の菊田徹副会長(臼杵史談会長、臼杵市歴史資料館長・顔写真)が、地域の史跡を他地域の事例も参考にしながら守っていくことや、史跡が示す災害の記録を現代の防災に生かすことなどを呼び掛けた。第6回サミットは山梨県で開催予定。正田忠公実行委員会長が同県の関係者と引き継ぎ式をした。

(宗岡博之)

www.oita-press.co.jp

大分合同新聞

9/14 月曜日 朝刊

創刊1886年(明治19年)
大分合同新聞社
 〒870-8605 大分市府内町3-9-15
 © 大分合同新聞社 2015
 大分 097-536-2121 別府 0977-22-2121
 FAX 097-538-9674 FAX 0977-25-1230
朝夕刊 完全連続紙
 単独販売の朝刊、夕刊、統合版はありません。

1 第41846号 (昭和)